「故障かな?」と思ったら（不調診断）

〈現象〉●関節部が確実にロックしない。
　　　　●関節部がスムーズに開閉できない。

点検する箇所	処置のしかた
ロック機能がそこなわれるような破損や変形、サビ付きがありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
支柱や関節部に変形がありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
関節部がサビ付いていませんか。	サビ付いている場合は、関節部に注油してください。機能がそこなわれるようないちじるしいサビ付きがある場合には、使わないで廃棄してください。
関節部に砂･泥･ホコリが入っていませんか。	ある場合は、取り除いてください。取り除けない場合は、使わないで廃棄してください。

〈現象〉●設置面が水平であるのに、ガタガタする。

点検する箇所	処置のしかた
脚元や先端が曲がっていませんか。	曲がっているときは、使わないで廃棄してください。
滑り止めキャップ（支柱端具）が、外れたり、すり減ったりしていませんか。	外れたり、すり減ったりしているときは、使わないでください。（弊社までご相談ください。）

〈現象〉　●大きくガタガタしている

点検する箇所	処置のしかた
全体に大きく曲がりやねじれがありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
支柱や踏ざんに、曲がりやへこみなどの変形はありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。

〈現象〉　●折りたたんだとき、合わされる脚に大きなズレがある。

点検する箇所	処置のしかた
関節部に変形がありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
関節部を止めているリベットが、ゆるんだり外れたりしてませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。

⚠警告　禁止
製品に異常があった場合、自分の判断で、手直しや補修は絶対にしないでください。一度変形した本体や金具は、いちじるしく強度が落ちており、手直ししても本体や金具の破損が起こり、転倒や転落による人身事故の原因になります。

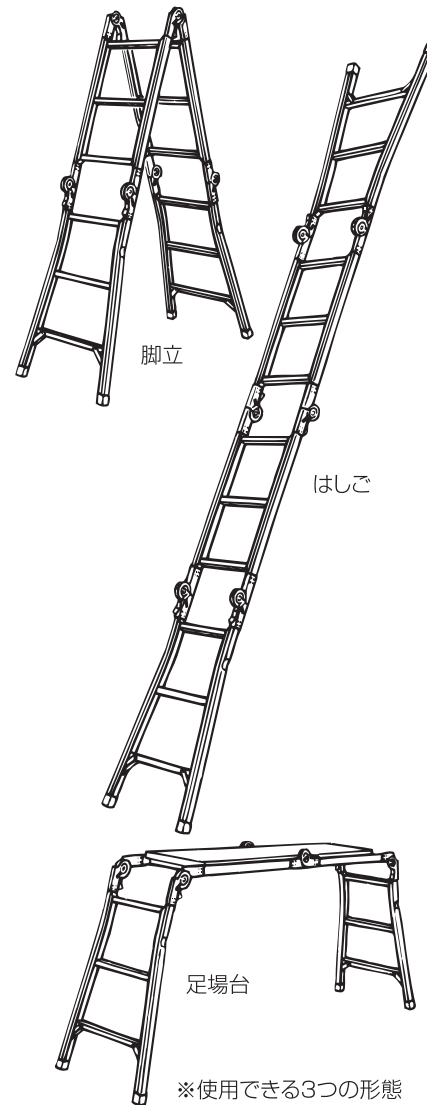
ALINCO アルインコ株式会社
〒569-8510　大阪府高槻市三島江1-1-1
お客様相談室　0120-302-669
10:00〜16:00　ただし12:00〜13:00及び土･日･祝を除く

2010072-FS

多関節脚立

取扱説明書

※使用できる3つの形態

ALINCO

このたびは本製品を、お買い上げ頂きましてありがとうございます。
この取扱説明書は、本製品の使いかたと使用上の注意事項について記載しています。
ご使用前には必ず、この取扱説明書を**よくお読みいただき、事故が起こらないよう、内容にしたがって正しくお使いください。**
また、お読みになった後も、この取扱説明書をすぐに取り出せる所へ**大切に保存**してください。

- **●多関節脚立は、正しく使われていないと転倒や転落の危険があります。お使いになるときは、多関節脚立の安定した状態を確認してください。**
- **●多関節脚立は、昇降面の左右方向に転倒しやすいので、十分注意してお使いください。**
- **●はしご状態で使うときや、脚立状態･足場台状態でもガタツキやすべりの恐れがあるときは、大人の補助者がしっかり支えて、転倒や転落しないように、十分注意してお使いください。**
- **●この取扱説明書に書かれた使いかた以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起こされても責任を負いかねますのでご了承ください。**

もくじ

表示マークについて

取扱説明書や製品のラベルに記載されている⚠マーク付きの説明は、安全上、特に重要な項目ですから、必ずお守りください。

⚠危険

記載されている内容を守らなければ、死亡や重大な事故が生じる危険が極めて大きいことを示します。

⚠警告

記載されている内容を守らなければ、死亡や傷害事故が生じる危険があることを示します。

⚠注意

記載されている内容を守らなければ、けがや製品が破損する恐れがあることを示します。
※破損したままで使用しますと、転倒や転落による傷害事故の原因になります。

禁止

このマークは、禁止（してはいけないこと）を示します。

強制

このマークは、強制（必ずすること）を示します。

＜絵表示について＞

警告表示の要点が一目で理解できるように、警告ラベルの中で絵表示を使用しています。絵表示には下記の意味があります。

感電注意

持ち運びや移動・設置時に、配電線に触れると感電して危険であることを示します。

可動部や回転部で手をはさまないよう注意

製品を操作するときに、可動部や回転部などで手をはさむ恐れがあることを示します。

脚立状態では、最上段の踏ざんに立つこと禁止

バランスをくずして、転倒や転落の危険があることを示します。

関節部のロック忘れに注意

使用状態にしたとき、関節部のロックを忘れて使うと製品が、折りたたまれて、転倒や転落の危険があることを示します。

この面は裏面です使用禁止

裏面を使うと関節部が破損して、転倒や転落による事故の恐れがあることを示します。

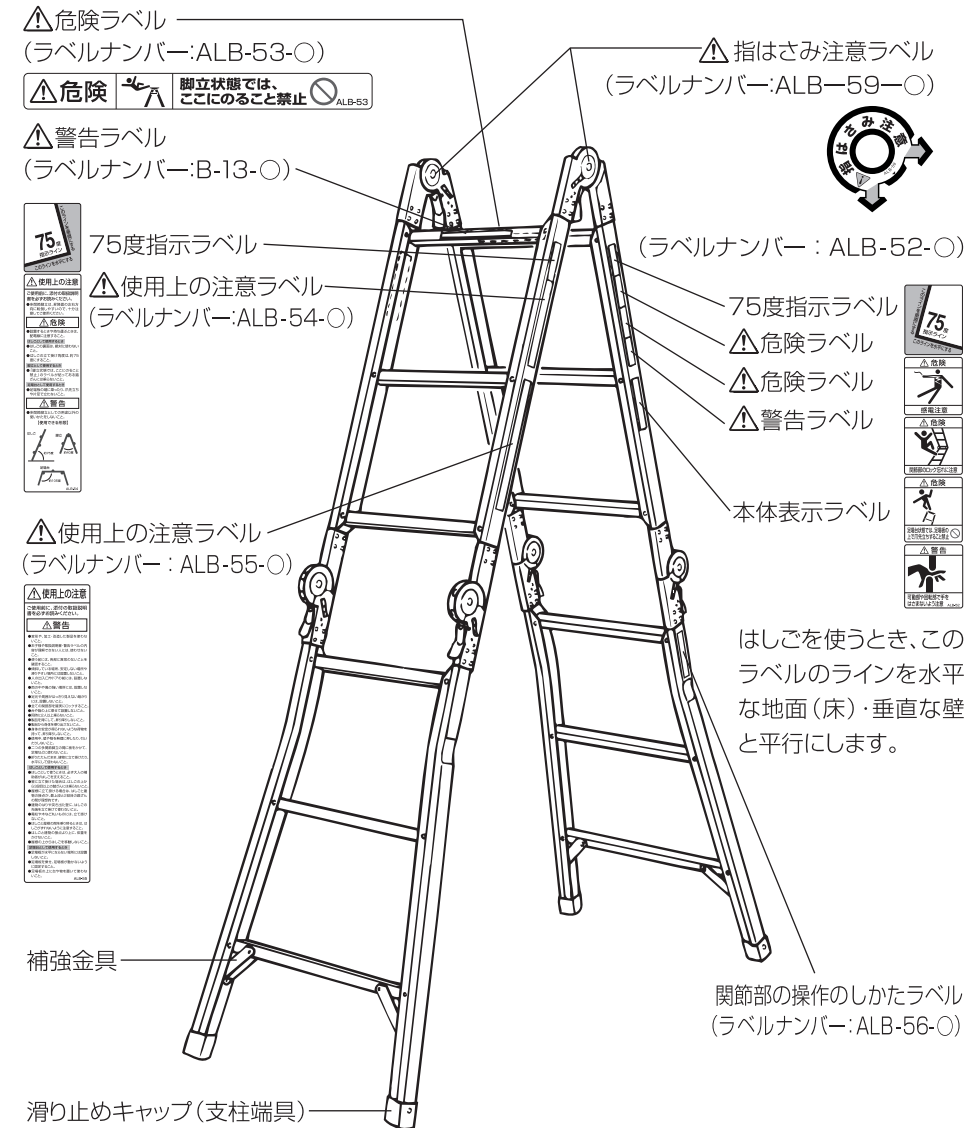
足場台状態では、天板の上で爪先立ちすること禁止

天板の上で爪先立ちすると、身体のバランスをくずして、転倒する危険があることを示します。

左右方向転倒に注意

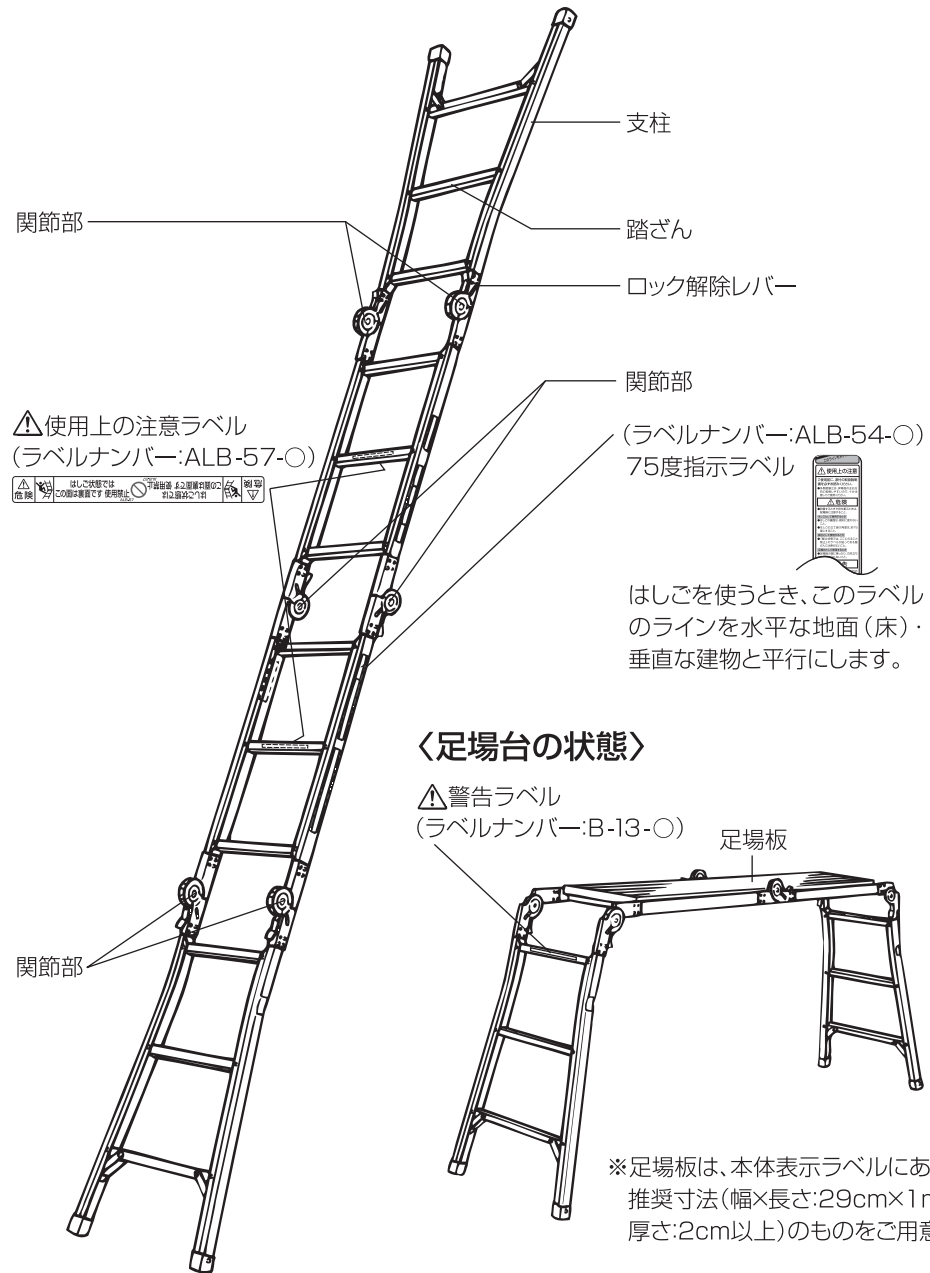
バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあることを示します。

各部のなまえ

〈脚立の状態〉

※1.ラベルを取り寄せるときは、ラベルナンバーをご連絡ください。
2.ラベルナンバーは、ラベルの右下に記載されています。
3.ラベルナンバーの○は、改訂ナンバーです。

各部のなまえ

〈はしごの状態〉

※足場板は、本体表示ラベルにある推奨寸法(幅×長さ:29cm×1m47cm厚さ:2cm以上)のものをご用意ください。

安全のために、必ず守っていただきたいこと

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡や重大な事故、製品の破損が生じる恐れがあります。

1. 使用条件について

⚠警告 禁止 **多関節脚立は3つの形態(表紙イラスト参照)に限ります。これらの用途以外の使いかたをしないでください。**

この製品は、高いところで作業するための足場として作られた「脚立」・「足場台」の用途と、建物などに立て掛けて高い所に昇り降りする「はしご」の用途があります。「はしご」として使うときは、作業をしないでください。使いかたを誤ったり、用途以外の使いかたをしますと転倒や転落による重大な事故の恐れがあります。

⚠警告 強制 **はしごで使うときは、必ず大人の補助者がはしごを支えてください。**

補助者がはしごを支えないと、はしごが動きます。そのときバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。
また使用中は、はしごを支える補助者以外の人は近づけないでください。

⚠警告 強制 **この製品は、本体表示ラベルでの最大使用質量の範囲内で使用してください。**

体重と荷物の合計質量が、最大使用質量を超えるときは、使用しないでください。
また、荷物はバランスが保てる程度の大きさや重さにしてください。

⚠警告 **多関節脚立を加工や改造しないでください。**

禁止

重大な事故を起こす恐れがあります。

⚠警告 禁止 **お子様や取扱説明書・警告ラベルの内容が理解できない人には、使わせないでください。**

この製品の取扱説明書や警告ラベルには、安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、内容が理解できない人が使うと、重大な事故につながる恐れがあります。

⚠注意 **使用に適した服装で使ってください。**

強制

製品に引っ掛かったり、すそを踏みつける恐れのある服装で使用しないでください。

⚠注意 **お使いになるときは、作業帽(ヘルメットなど)を着用してください。**

強制

⚠注意 禁止 **貼りつけてあるラベルが無くなったり、読めなくなった製品は使わないでください。**

必ず、弊社から新しいラベルを取り寄せ、正しい位置に貼り、内容を理解してから使ってください。
※ラベルを取り寄せるときは、ラベルのナンバー(2・3ページを参照)をご連絡ください。

⚠注意 身体が下記の状態のときは、使わないでください。

禁止

- 疲れているとき
- 薬やお酒を飲んだとき
- 病気や妊娠しているとき
- 身体に異常を感じるとき

身体のバランスが保てず転倒や転落の恐れがあります。

⚠注意 この製品を人に貸すときは、取扱説明書も共に貸し出してください。

強制

取扱説明書には、安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、よくご理解のうえ使うように指導してください。

2. ご使用になる前に

⚠警告 使う前には、必ず「ご使用前の点検（13ページ参照）」を行い、異常のないことを確認してください。

強制

異常のあるときは、絶対に使わないでください。重大な事故につながる恐れがあります。

⚠警告 変形した多関節脚立を使わないでください。

禁止

この製品はアルミ製です。曲がったアルミ材は曲げ直すと強度がいちじるしく低下します。したがって、変形した製品を修理して使いますと、容易に折れたり曲がったりして、重大な事故の原因になります。

3. 運ぶときは

⚠注意 トラックなどにロープで固定するときは、ロープを激しく引っ張らないでください。

禁止

製品に亀裂が入り、使用中に折れて転落する恐れがあります。

⚠注意 収納状態で持ち運ぶときは、支柱が開かないようにロープなどで固定してください。

強制

支柱が開いて、傷害事故や物損事故を起こす恐れがあります。

⚠注意 持ち運ぶときは、引きずったり、投げたり、乱暴に扱わないでください。

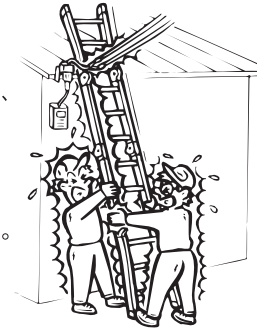
禁止

乱暴に扱うと、変形やへこみ・破損の原因になります。

4. 設置する場所について

⚠危険 設置するときや持ち運ぶときは、配電線に注意してください。

強制

この製品は電気を通しますので、配電線に触れると感電し、重大な事故につながる危険があります。

⚠警告 多関節脚立が安定しなし場所には、設置しないでください。

禁止

設置場所が下記の状態では、多関節脚立が傾いて転倒や転落の恐れがあります。

- やわらかい地面で、多関節脚立が安定しない場所。
- 段差があったり、凹凸があって安定しない場所。
- はしごで使うとき、支柱の片側がジャリ、もう一方がコンクリートなど、左右の硬さが違う場所。
- 多関節脚立がガタツク場所。
- 傾斜している地面や床、屋根の上。
- 積雪している場所。
- その他、安定しない場所。

⚠警告 多関節脚立が滑りやすい場所には、設置しないでください。

禁止

設置場所が下記の状態では、転倒や転落の恐れがあります。

- 滑りやすいビニール製の床・タイル・鉄板の上。
- 濡れている場所。
- 積雪や凍結している場所。
- 滑りやすいタイル・ガラスなどの壁。
- 砂・ごみ・ほこり・落葉などで滑りやすい場所。
- その他、滑りやすい場所。

⚠警告 足場台として使うときは、足場板が水平にならない場所には設置しないでください。

禁止

安定が確保できないため、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 人の出入口やドアの前には、設置しないでください。

禁止

出入りする人や開けたドアで、多関節脚立が倒されて転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 雨の中や風の強い場所には、設置しないでください。

禁止

濡れた踏ざんで滑ったり、強い風を受けて身体のバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 足元や周囲がはっきり見えない暗がりには、設置しないでください。

禁止

足を踏み外したり、周囲の危険な物に気付かないことが原因で、転倒や転落の恐れがあります。

⚠注意 周囲に危険なものがある場所や、頭上に障害物のある場所には設置しないでください。

禁止

転倒や転落の恐れがあります。

5. 多関節脚立を開閉するとき

⚠警告 関節部を確実にロックしてください。

強制

関節部のロックが不十分で使うと、多関節脚立が開閉し、転倒や転落事故を起こす恐れがあります。

⚠警告 多関節脚立を開閉するときに、可動部や回転部などで、手をはさまないように注意してください。

強制

けがをする恐れがあります。

⚠注意 多関節脚立を開閉するときは、支柱を持たないでください。

禁止

支柱と支柱の間で手をはさむ恐れがありますので、必ず踏ざんを持ってください。

⚠注意 多関節脚立を開閉するときは、関節部に砂・泥・ほこりが入らないよう注意してください。

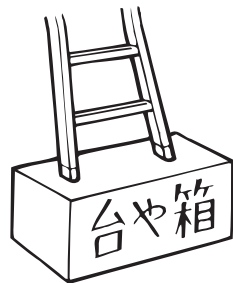
強制

関節部に砂・泥・ほこりが入ると、関節部が動かなくなる恐れがあります。

6. 多関節脚立を設置するとき

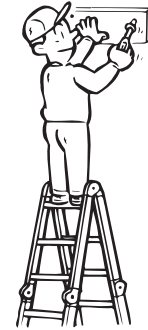
⚠警告 多関節脚立を高くするために、製品にパイプや木などをつないだり、台や箱の上に乗せたりしないでください。

禁止

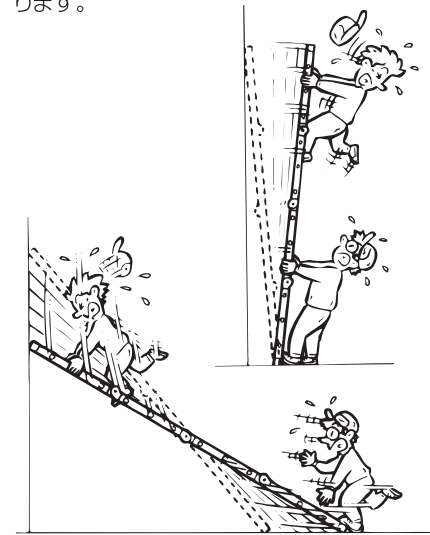
つなぎ目が折れたり、台や箱が移動して、転倒や転落事故の恐れがあります。

7. 多関節脚立で昇り降りや作業するとき

⚠危険 脚立として使うときは、最上段の踏ざんの上には、絶対に乗ったり、座ったり、まがったりしないでください。

禁止

バランスをくずし、転倒や転落する危険があります。

⚠危険 はしごとして使うときは、立て掛け角度は、約75度にしてください。

強制

はしごを立てすぎると倒れ、ねかせすぎると滑りますので、転倒や転落事故の危険があります。

⚠危険 はしご状態では、裏面は絶対に使わないでください。

禁止

はしごが破損や変形して、転倒や転落事故の恐れがあります。

⚠危険 足場台状態では、足場板の端に乗ったり、爪先立ちや片足で立たないでください。

禁止

バランスをくずして、転倒や転落の危険があります。

天板に乗るときは、身体が天板の中央になるように乗ってください。

⚠警告 建物の壁に立て掛けた場合は、はしごの上から3段目以上の踏ざんには乗らないでください。

禁止

身体が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 建物の屋根などに立て掛ける場合は、はしごと建物の接点は、最上段と2段目の踏ざんの間が理想的です。

強制

はしごを建物の接点から長く出しすぎると、はしごから屋根へ乗り移る場合、はしごが動きます。そのときバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。建物の高さに合ったはしごをお使いください。
やむをえず、長く突き出るときは、補助者が特に注意してはしごを押さえ、はしごの上の使用者は接点より上の踏ざんや支柱に体重をかけないでください。

⚠警告 はしご状態では、水平にして使わないでください。

禁止

製品が破損して、転倒や転落の恐れがあります。

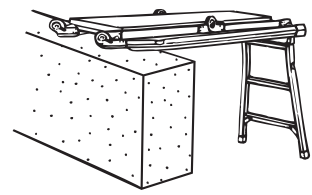
⚠警告 はしごとして使うときは、建物のはりや突き出た壁に、はしごの先端を立て掛けて使わないでください。

禁止

はしごのしなりや滑りによって、はしごの先端が外れ、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 多関節脚立を折りたたんだまま、建物に立て掛けたり、水平にして使わないでください。

禁止

不安定な使用のため、バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 電柱や木など丸いものには、立て掛けないでください。

禁止

踏ざんが直接あたると、はしごが不安定になり、バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 はしごと建物の接点より上の踏ざんや支柱に、体重をかけないでください。

禁止

はしごの接地側が持ち上がって不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 はしごと屋根の間を乗り移るときは、はしごがずれないように注意してください。

強制

はしごがずれて不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 屋根の上からはしごを移動しないでください。

禁止

身体のバランスをくずしたり、接地面が不安定になって、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 足場台として使うときは、足場板を乗せてください。

強制

足場板がないと、足を滑らせて転倒や転落の恐れがあります。
足場板は、本体表示にある推奨寸法のものをご使用ください。

⚠警告 足場台として使うときは、足場板が動かないように固定してください。

強制

固定しないと、足場板が滑って転倒や転落の恐れがあります。
足場板は、ロープなどで固定してください。

⚠警告 禁止

足場台として使うときは、足場板の上に台や物を置いて使わないでください。

台や物の上で滑って、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 禁止

同時に2人以上乗らないでください。

多関節脚立が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 禁止

製品を背にしたり、手放しで昇り降りしないでください。

身体が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 禁止

多関節脚立の支柱から身体を乗り出さないでください。

身体を乗り出すとバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 禁止

身体の安定が得られないような荷物を持って、昇り降りしないでください。

バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。そのような荷物があるときは、背中に背負うなどして、両手両足が使える状態にしてください。

⚠警告 禁止

多関節脚立の上で壁や物を無理に押したり、引いたりしないでください。

無理に押したり、引いたりすると、反動で多関節脚立が不安定になって、転倒や転落の恐れがあります。。

⚠警告 禁止

二つの多関節脚立の間に板をかけて、足場などに使わないでください。

踏ざんなどが破損したり、多関節脚立が不安定になって、転倒や転落の恐れがあります。

⚠注意 禁止

多関節脚立は慎重に昇り降りし、途中から飛び降りたりしないでください。

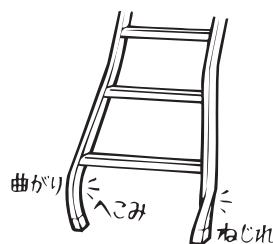
傷害事故の恐れがあります。降りるときは、最下段の踏ざんまで使って慎重に降りてください。

ご使用前の点検

多関節脚立をお使いになる前には、下記の点検を行い、異常のないことを確認してください。
また、異常に対して処置のできるものは、正しい処置をした後に使用してください。

1.目で見て、下記の点検をしてください。

❶ 踏ざんにグリース・油・泥・雪・水・ペンキなど、滑りやすいものが付いていないか確認し、付いている場合はきれいに拭き取ってください。（22ページを参照）

❷ 支柱に曲がり・ねじれ・へこみがありませんか。ある場合は、**絶対に使わない**で廃棄してください。

❸ 踏ざんに曲がり・へこみがありませんか。ある場合は、**絶対に使わない**で廃棄してください。

❹ 各部の接合部に割れやいちじるしい腐食がありませんか。また、取り付け部品の破損・脱落・変形・摩耗・いちじるしい腐食がありませんか。ある場合は、**絶対に使わない**で廃棄してください。

❺ リベット・ねじ・ピンなどのゆるみや抜け落ちがありませんか。ある場合は、**絶対に使わない**で廃棄してください。

❻ 滑り止めキャップ（支柱端具）が外れたり、すり減ったりしていませんか。外れたり、すり減ったりしている場合は、**絶対に使わない**でください。必ず弊社までご相談いただき、新しい滑り止めキャップ（支柱端具）と交換してください。

2.下記の箇所を触って点検をしてください。

❶ 各段の踏ざんをねじってみて、ガタツキがないか点検してください。ガタツキがある場合は、**絶対に使わない**で廃棄してください。

3.全ての関節部を開閉して、下記の点検をしてください。

❶ 関節部のロックを解除して、スムーズに開閉できますか。
スムーズに開閉できないときは、全ての関節部に泥やセメント・ごみの噛み込みがないか点検し、あれば取り除いてください。

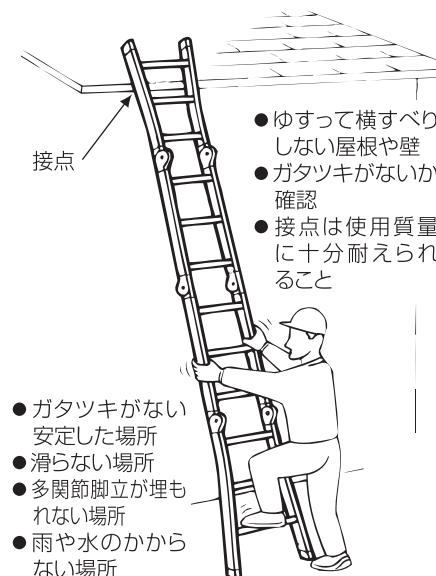
❷ 全ての関節部にゆるみやガタツキがありませんか。
ガタツキがある場合は、関節部にゆるみや外れが考えられますので、**絶対に使わない**で廃棄してください。

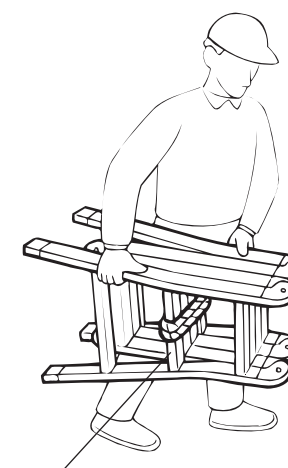
❸ 関節部が確実にロックするか点検してください。関節部の1ケ所でも確実にロックできない場合は、**絶対に使わない**で廃棄してください。

⚠注意
支柱を最も折りたたんだときは、ロックされません。

多関節脚立の使いかた

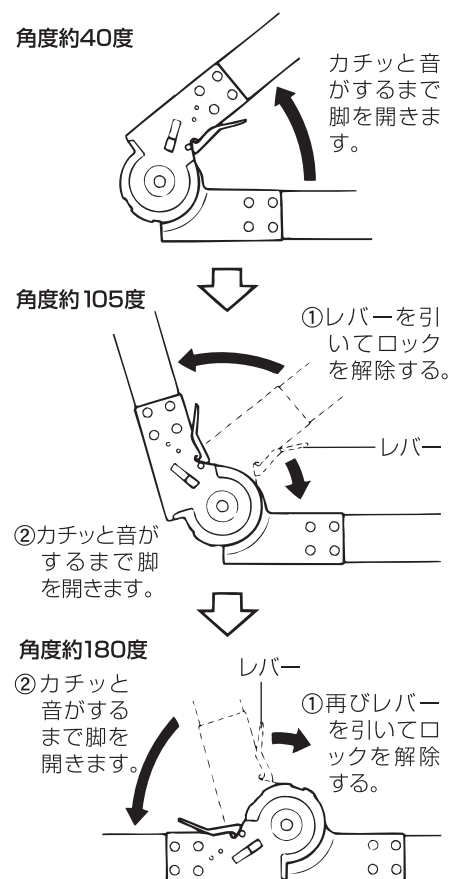
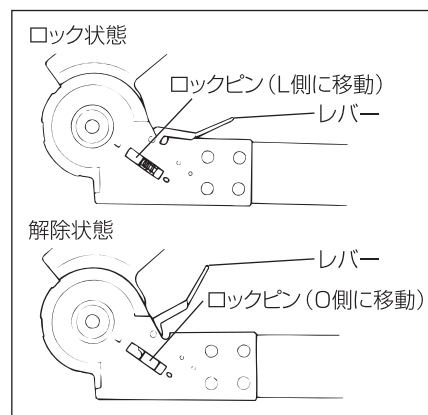
1.設置場所について

- 平坦で安定した場所、滑りにくい場所、また多関節脚立が埋もれない場所を選んで設置してください。
- 雨や水のかからない場所、強い風を受けない場所に設置してください。
- 多関節脚立の周囲に危険な物がなく、バランスの良い姿勢で使える位置に設置してください。
- 設置後は、多関節脚立にガタツキがないか確認し、ある場合は多関節脚立の位置を移動してガタツキを取り除いてください。
- はしごとして使うときは、はしごとの接点が使用質量に十分耐えられ、横すべりやガタツキがないことを確認して、ある場合は、はしごの位置を移動してガタツキを取り除いてください。

2.持ち運びのしかた

多関節脚立を持ち運ぶときは、図のように両手で支柱を持って運んでください。
また、持ち運ぶ前には、必ず支柱が開かないように踏ざんをロープなどで固定してください。

関節部の操作のしかた

3.多関節脚立の　開きかたと閉じかた

関節部は、約40度･約105度･180度の開き角度でロックできます。
折りたたまれているときは、関節部は解除の状態にあり、脚を開くことができます。
関節部がロック状態のときは、ロックピンがL側に移動します。解除状態のときは、ロックピンが0側に移動します。
多関節脚立の開閉は、下記の要領で行います。

❶ 折りたたまれている脚を開くと約40度の角度で"カチッ"と音がして、ロックの状態になります。
❷ 再度開くときは、ロック解除レバーを引いて（図の矢印方向）ロックを解除し、脚を開くと約105度の角度で"カチッ"と音がしてロックの状態になります。
❸ さらに開くときは、ロック解除レバーを引いてロックを解除し、脚を開くと180度の角度で"カチッ"と音がしてロックの状態になります。
❹ 閉じるときは、ロック解除レバーを引いてロックを解除し、静かに折りたたんでください。
❺ 開き角度180度から約105度（約40度）の角度にするときは、いったん脚を約90度（約20度）の角度まで閉じてから、目的の角度まで開いてください。目的の角度になると"カチッ"と音がしてロックの状態になります。

使用状態と使いかた

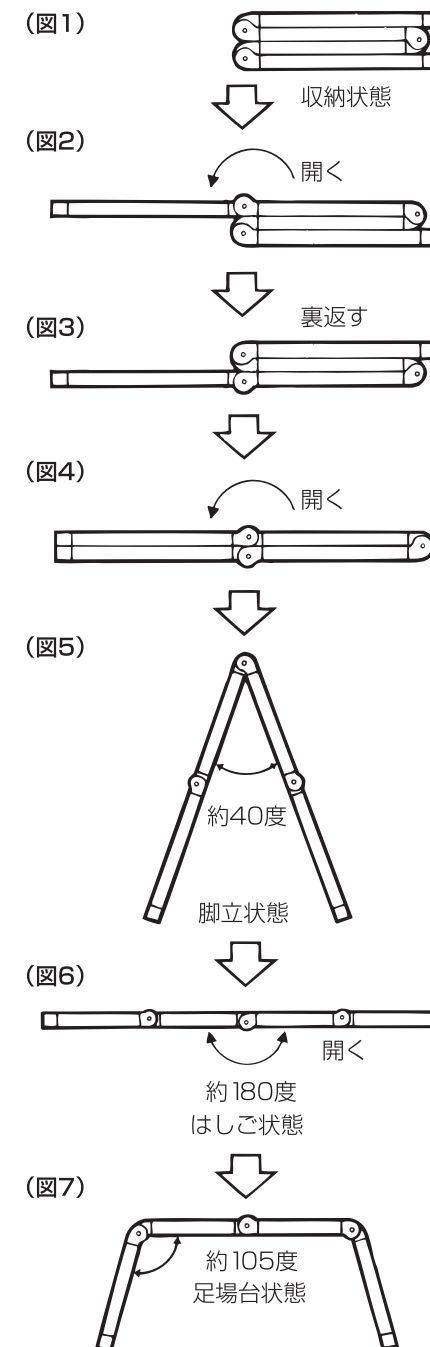
4.脚立･はしご･足場台に　するときとたたみかた

❶ 収納状態で寝かせます。（図1）
❷ 上側の脚を開きます。（図2）
❸ 製品を裏返しにします。（図3）
❹ もう一方の脚を開きます。（図4）
❺ 製品を垂直に起こし、踏ざんを両手で持って開くと、脚立になります。（図5）
❻ 製品を180度に開くとはしごになります。（図6）
❼ はしご状態から、両側の脚を1段階（約105度）折りたたみ、裏返しにすると、足場台になります。（図7）

※開閉するときは、必ず関節部が解除の状態になっていることを確認してから行ってください。

❽ たたみかたは、❶～❼の逆の手順で行ってください。

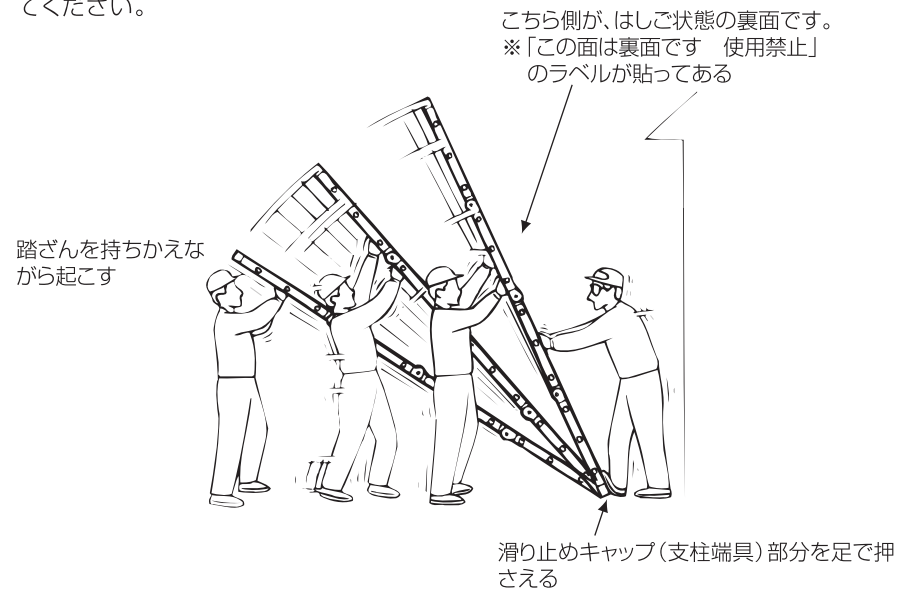
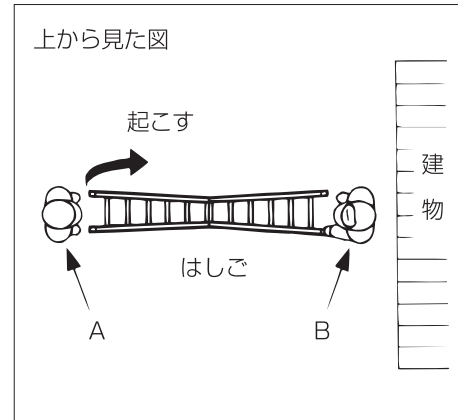
⚠注意

- **使用するときは、全ての関節部（6ケ所）がロック状態であることを確認してください。**
- **開閉は、慎重にゆっくり行ってください。乱暴にしますと回転部で手をはさんだり、変形や破損の原因になります。**
- **関節部に砂･泥やほこりが入らないよう注意してください。**

5.はしごの起こしかた・倒しかた

作業は2人で行ってください。

＜起こしかた＞

❶ 昇る建物に対して、はしごと2人の作業者は右図の位置になります。

❷ 建物側の人（B）は、はしごが動かないように滑り止めキャップ（支柱端具）部分を足で押さえ、もう一方の人（A）が踏ざんを持ちかえながら、ほぼ垂直まで起こしてください。

＜倒しかた＞

❶ 2人の作業者が向かい合って立ち、建物側の人（B）が、滑り止めキャップ（支柱端具）部分を足で押さえてください。

❷ もう一方の人（A）が、はしごの踏ざんを持ちかえながら倒してください。

6.はしごの立て掛けかた

はしごの立て掛けは、2人で行ってください。

❶ はしごの表面が使えるように立て掛けてください。

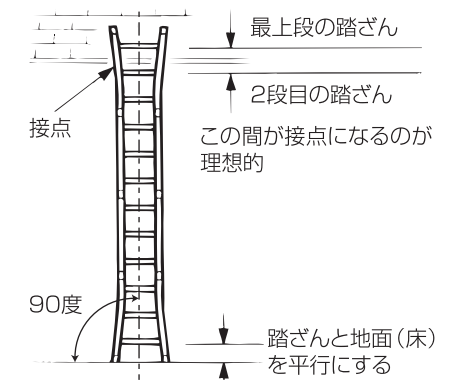
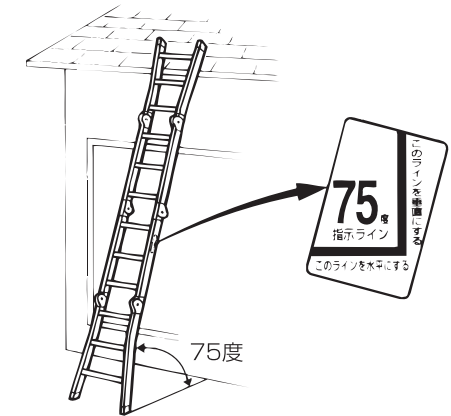
※裏面には「はしご状態では、この面は裏面です　使用禁止」のラベルが貼ってあります。

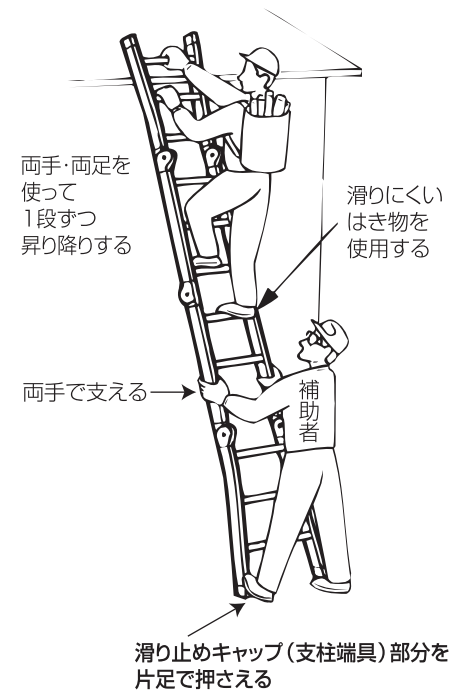
❷ はしごの立て掛け角度を約75度に調整します。

※75度の目安は、支柱に貼ってある「75度指示ライン」を、水平な地面（床）・垂直な建物と平行になるようにしてください。

❸ はしごを正面から見て、まっすぐ（水平な地面に90度）に立て掛けてください。

❹ 屋根などに立て掛ける場合は、はしごと建物との接点が、最上段と2段目の踏ざんの間が理想的です。

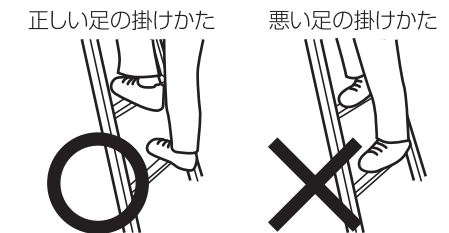
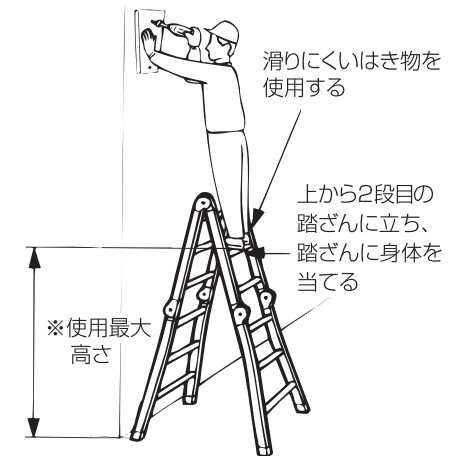
※上記以上に、はしごが接点から突き出てしまうときは、補助者が特に注意してはしごを押さえてください。また、はしご上の使用者は、接点より上の踏ざんや支柱に体重をかけないでください。

7.はしごの昇りかた・降りかた

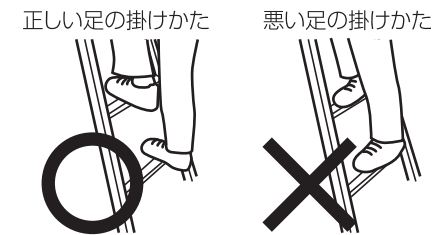
- 昇る前に、**必ず全ての関節部（6ケ所）が確実にロックされていることを確認**してください。
- はしごは、表面と裏面があります。昇る前に表面であることを確認してください。**裏面には、「この面は裏面です　使用禁止」のラベルが貼ってあります。**
- 運動靴など、滑りにくいはき物をはいてください。
- 身体の前面をはしごに向け、両手・両足を使って、慎重に昇り降りしてください。
- 昇り降りに支障をきたすような荷物があるときは、背中に背負うなどして、両手を使えるようにし、身体のバランスに注意しながら昇り降りしてください。
- **はしごから屋根、屋根からはしごに乗り移るときは、はしごが不安定になります。補助者がはしごをしっかり押さえて、安定させてください。**
- はしごを使って降りるときは、1段ずつ踏ざんに足を掛け、最下段の踏ざんまで使って慎重に降りてください。
- 昇り降りするときは、補助者が滑り止めキャップ（支柱端具）部分を片足で押さえて、両手でしっかり支えてください。

8.脚立の昇りかた・降りかた・作業のしかた

- 昇る前に、**必ず全ての関節部（6ケ所）が確実にロックされていることを確認**してください。
- 運動靴など、滑りにくいはき物をはいてください。
- 身体の前面を脚立の昇降面に向け、両手・両足を使って、慎重に昇り降りしてください。
- 荷物があるときは、背中に背負うなどして、両手を使えるようにしてください。
- **脚立の上で作業するときは、「脚立状態では、ここにのること禁止」のラベルの貼ってない踏ざんに立ち、踏ざんに身体を当て、安定させた状態で作業してください。**
- 脚立の上で作業するときは、脚立の支柱から身体を乗り出さないでください。
- 降りるときは、飛び下りずに1段ずつ踏ざんに足を掛け、最下段の踏ざんまで使って慎重に降りてください。
- 踏ざんに乗るときは、図のように足を掛けてください。
- 脚立を移動するときは、脚立から地上に降りて移動してください。

※使用最大高さ:乗ることができる最大の高さ

正しい足の掛けかた

悪い足の掛けかた

9.足場台の昇りかた・降りかた・作業のしかた

- 昇る前に、**必ず全ての関節部（6ケ所）が確実にロックされていることを確認**してください。
- 運動靴など、滑りにくいはき物をはいてください。
- 清掃作業でお使いになるときは、足場台に水がかからないよう十分気をつけてご使用ください。
- 足場板を載せて、ロープなどで確実に固定してください。
  ※足場板は、本体表示ラベルにある推奨寸法（幅×長さ:29cm×1m47cm厚さ:2cm以上）のものをご用意ください。
- 身体の前面を足場台の昇降面に向けて、慎重に昇り降りしてください。
- 降りるときは、飛び降りずに1段ずつ踏ざんに足を掛け、最下段の踏ざんまで使って慎重に降りてください。
- 足場台の上で作業するときは、身体が足場台から乗り出さないようにしてください。
- 足場板に乗るときは、身体が足場板の中央にくる位置に乗ってください。
- 踏ざんに乗るときは、図のように足を掛けてください。
- 足場台を移動するときは、足場台から降りて移動してください。

使用後のお手入れと保管のしかた

1. お手入れのしかた

多関節脚立にとって泥・汚水・セメント・石灰・海水は大敵です。いつもきれいにしておいてください。

〈掃除のしかた〉

❶汚れは、濡れぞうきんなどできれいに拭き取ってください。

❷汚れがいちじるしい場合は、水洗いした後、乾いた布で拭いてください。

❸油系の汚れはクリーナーや洗剤で落とした後、クリーナーや洗剤が残らないように、きれいに拭き取ってください。

⚠注意

- **関節部には、適時注油してください。**
- **クリーナーや洗剤を付けたままにしていますと腐食の原因になります。**

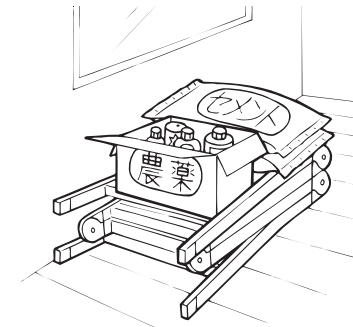
2. 保管のしかた

❶雨や直射日光の当たらない、風通しの良い乾燥した場所を選んで保管してください。雨や直射日光が当たると、各部の腐食や劣化により、強度低下の原因になります。

❷本製品が濡れているときは、十分に乾燥させてから保管してください。

⚠注意

- **保管中は、本製品の上に物を置かないでください。変形の原因になります。**
- **関節部に砂・泥やホコリが入らないように注意してください。**
- **農薬やセメント・石灰の近くに本製品を置きますと、化学反応を起こして腐食の原因になりますので、絶対に置かないでください。**

禁止

「故障かな?」と思ったら（不調診断）

〈現象〉● 使ったときに、グラグラする。

点検する箇所	処置のしかた
支柱と踏ざんの接合部に、ゆるみやガタツキがありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
支柱と関節部の接合部に、ゆるみやガタツキがありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。